

デイジー教科書導入促進のための 工夫と導入後の展望

県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科
コミュニケーション障害学コース(言語聴覚士養成校)
講師・言語聴覚士 細川 淳嗣

2025/02/23

令和6年度 音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究事業
「デイジー教科書事例報告会」

- 大学附属診療センターでの医療でのリハビリテーションでのLDによる文字の読みに困難を持った事例
- 大学近隣施設と開催している勉強会での事例や経験
- 複数の自治体の教育委員会で特別支援教育巡回相談員、就学支援委員として関わった読みに困難さを持った事例

を通して「デイジー教科書導入促進のための工夫と導入後の展望」を整理し、課題となることについて考察をした。

はじめに

導入後の展望→デイジーも含め必要な方法や支援を得るには？

「将来に渡って自ら必要な方法や支援を使い続けるためどんな支援が必要か？」

将来にわたって自ら必要な方法や支援を使い続けられる

本人自身が得意・不得意を理解
必要な方法・支援を自分で選択できる
(使える)

支援方法(機器)を使う技能を身につけ、実際に使う

支援者の支援力の向上

1. 自分の得意・不得意の理解と不得意を補う方法・支援の理解

・目的

- ① 自分自身の障害（得意・不得意）について知る
- ② どのような方法を使うと・支援があるとそれを補えるか
(例:読み上げソフトを使う、ルビを振る、読んでもらうなど)



- ① 自己理解、自己肯定感
- ② 合理的配慮を**本人の意思で申し出**ができるように
→大学・就職の段階

どのような支援をしているか？

① 本人に対して障害の説明をする

説明の方法や内容

- a. 検査の結果を保護者と一緒に聞いてもらう
- b. 実際の不得意なこと（学習）と検査結果がどのように関係しているかの説明
- c. 頑張りが足りないからできないのではないことを説明
- d. 補う方法があることの説明
→一緒に試すことができることも含めて

どのくらいの時期に行うか？

- ・小学校高学年～中学生が多い
- ・それより前に友達と違うことに気がついている場合は、本人の理解に合わせて
c, dを中心に説明

※授業中での気づき

病院にリハに通っている、通級に行っている理由を知りたいなどから

② 実際に使ってみる

人によって違うので、実際に使って試行錯誤してみる

- ・DAISYに限らずさまざまな方法（後ほど）

- ・いろいろな場面で

普段の学習ではDAISYあった方が便利だけど

試験の時はルビが振ってあればいい

学校では他の子と違うのは嫌だけど、家でなら使いたい など

やってみて一緒に振り返る

→個別の支援計画へ反映（通常の学級であっても）

→定期的に内容の見直し

※高校入試での合理的配慮申請に必要（後で詳しく）

具体的な方法を記載（DAISYによる読み上げに限らず）

2. 支援方法(機器)を使う技能を身につける

・ DAISYの導入・利用練習

機器の操作だけでなく、どのように使うかも含め(こちらの方が重要)指導

・ 使い方の例

①再生をして聞いて内容を理解する

②予習として自宅で聞く(特に小学校高学年以降、理科や社会なども)

③音読練習時にシャドーイング

(音声を聴きながら同時に復唱、斉読)

まだ少数事例ですが・・・

宿題である音読練習への抵抗減少

大人が付いていなくても宿題の音読可能

読みの流暢性向上(初見の文章で)

教科書では使いたくないが、読書はしたいという生徒も

→DAISY子ども夢文庫、わいわい文庫（DAISYで読める書籍）を紹介

伊藤忠記念財団が提供

今後、Chatty Libraryの使い方も（中高生以降か？）

特定非営利活動法人サイエンス・アクセシビリティ・ネット（次の鈴木先生の講演の中で）

小学校高学年～中学時代の学校でのデイジー使用の課題

みんなと違うことはしたくない

学校では使わないが、家庭学習や読書にはDAISYは使いたい

→許容する、便利さが理解できて学校で使うようになる場合も

音声付き教科書※なら学校でも使った例もあり

※特定非営利活動法人 テストと学習環境のユニバーサルデザイン研究機構が提供



発達段階が次に進むことで解消される可能性高い 個の確立（自分は自分）

使いたいと思った時に使えるように準備しておく

☆広島県内の研究推進校（発表者が巡回相談員として関わっている自治体）

ノートテイクを紙のノート、PCどちらでも好きな方法でさせている（割合は半々くらい）

→自分だけ違う訳ではない→DAISYを授業での使用がスムーズに導入できた

※教育のユニバーサルデザイン

小学校低学年からデイジーを使い始めることで導入がスムーズになる事例も

早期から使い始めることで導入がスムーズになる理由の考察

- ・勉強道具の一つ（紙と鉛筆、紙の教科書と同じ）という位置づけ
- ・周囲との違いについてまだあまり意識がされにくい時期
- ・早い時期から勉強が分かる・楽しいという経験を積める



使用し始めるのが先、なぜ使っているかは後で理由を理解する

DAISY以外の手段があることを知ってもらう

★PCやタブレット端末のスクリーン・リーダー機能を使ってのテキストの読み上げ

(ワープロソフト、Webブラウザ、メールなど)

→Webブラウザの読み上げは、調べ学習などに使える

→pdfや画像→テキストに変換→テキスト読み上げ

・高校での音声教科書の選択肢として

アクセス・リーディング

Chatty Library

※将来に渡ってデイジーが使える訳でないので紙の教科書を読めないと困ると言われる中学校の先生もいる

★読書を支援するものとして

オーディオ・ブック、わいわい文庫

→多様な方法があることを知って、自分で適切かつ必要な方法を選択し使用できる支援

3. 支援者の支援力向上

- DAISYだけでなく、さまざまな方法と使い方をしておく
- それぞれの方法の申請の煩雑さ
- 日進月歩なので追いついていくのが負担
- 新しい方法だけでなくバージョンが変わると使い方が変わる場合も

→各教員（支援者）の個人的な努力だけでは難しい部分もある

2022年度から学校教員（SCも）向けの公開講座を企画実施

音声読み上げを使うことの認知面からの必要性

さまざまな読み・書きを支援する機器のハンズオン演習

DAISYなどの申請方法も含め

高校入試における合理的配慮を受けるために準備すること

・高等学校入試のための合理的配慮申請（広島県公立高等学校の場合）

特別措置の制度があり、申請書も選抜要項の中に書式がある
フローチャートは現在のところないが、

申請に必要な事項に対応するため早めに準備が必要
「注意」の部分に対応するために重要

・配慮等を細かく記入

・**機器等による検査問題の閲覧を必要とする者及び発達障害を理由とする者は、医師の診断書及び中学校における個別の教育支援計画等を添付して提出すること**

→医療機関での受診状況を確認

（DAISYなどの利用は診断書がなくても始められるがどこかの時点では診断を受ける必要がある）

教育支援計画に具体的に試験での合理的配慮を記載しておく

※中学校の定期試験の中で試行錯誤する必要があるので、中学校1年時から試していく必要がある。

様式第4号 05

入学者選抜に関する特別措置願

令和 年 月 日

_____ 高等学校長様

出身中学校名 _____ 中学校
志願者氏名 _____
保護者氏名 _____

次のとおり、入学者選抜において特別措置をしてください。

1 措置の内容

2 理由

3 志願先高等学校等

志願先高等学校	志願課程	本・分校	学科・コース

措置の内容に係り、中学校においては定期考査等を実施する際に次のような配慮をしており、上記のことは、適当と認められます。

_____ 中学校長氏名 _____ 印

令和 年 月 日

受付番号	※	高等学校受付印
受検番号	※	※

〔注意〕 1 ※印の欄には、記入しないこと。
2 「措置の内容」については、当日の検査等で必要な配慮を細かく記入すること。
3 「理由」は具体的に記入すること。
4 点字検査用紙を必要とする者、機器等による検査問題の閲覧を必要とする者及び発達障害を理由とする者が、この様式を使用する場合は、必要に応じて「短先」を志願する高等学校を所管する教育委員会教育長に訂正すること。
5 機器等による検査問題の閲覧を必要とする者及び発達障害を理由とする者は、医師の診断書及び中学校における個別の教育支援計画等を添付して提出すること。
6 中学校卒業後5年を超える者については、中学校長による記入は不要とする。

- 事例の紹介

中学入学後からDAISYを主に家庭学習で使って

高校入試での合理的配慮申請に向けて入学後から授業・定期試験での合理的配慮をおこなった事例

(特に、定期試験での状況について報告します)